

広報 ただみ

12
2009 月号
No. 475
平成21年12月10日



今月の表紙

小雪がばらついた11月3日、合同で行われた只見町産業文化祭と只見地区JAまつりには、早朝から大勢の来場者が姿を見せた。中でも、拾ったもちの袋の中にラッキー賞が含まれた紅白もちまきには、福を求める人ばかりができていた。

第39回只見町産業文化祭 & 第14回只見地区JAまつり 2~3

- 七十苧遺跡で新たな発見 埋蔵文化財調査 4~5
- 町制施行50周年記念事業只見ごはんまつり 他..... 6~7
- ふくしま森林文化フォーラム 他..... 8~9
- 町の話 10~11

祝町制施行50周年記念 第39回只見町産業文化祭 第14回只見地区JAまつり



▲目黒只見町長ら関係者による「なわカット」

農業への回帰

受け継がれる農業を見つめ返し新たな経営戦略で未来へ躍進する農業、これからの農業経営の可能性を探り、現在、町で行われている事業などを紹介し、併せて新規就農者への支援制度の相談も行われた産業文化祭のメインテーマは「農業への回帰」。農業の歴史や魅力が会場内に展示されました。

第39回只見町産業文化祭が11月3日、只見地区センターを会場に開かれ、今回は同会場で第14回JAまつりも行われ、約1000名の来場者で賑わいました。

開会式では産業文化祭実行委員会会長の目黒町長及びJAまつり実行委員会代表の星安博JA会津みなみ代表理事組合長のあいさつがあり、次にJAまつり農産物品評会の表彰が行われ、トマトで只見町長賞を受賞された菅家絹恵さん(黒谷)らに賞状や記念品が贈られました。続いて渡部勝博福島県議会議員が祝辞を述べた後、テープに変わる手よりのなわによる、なわカットが行われ、来場者が次々に入館しました。

入るとすぐのメイン展示館では新規就農者支援制度や農家民泊事業の紹介、企業の農業参入事例として、そばやわさび栽培などの紹介がされ、来場者は興味深そうに内容を確認されていました。また、新規就農相談コーナーも設置され、農業経営を希望される方などが相談に訪れていました。他にも農業に係るコーナーとして農機具の歴史館や米粉の特徴を紹介し米粉を使用した試食品の提供を行なった米粉コーナーなども設けられました。

館内では、様々な催しも行われ、ただみ民話茶屋では只見町昔ばなしの会の皆さんによる民話の語りと小学生の発表があり、方言による巧みな話術に引き寄せられ、部屋に入りきれないほどの人気コーナーでした。また、手工芸館では、手芸の体験ができ新聞で作るエコバックに小学生などがチャレンジしていました。さらに、絵画や書、写真などが展示された町民芸術館をはじめ、町民文芸館、菊花・盆栽・山野草展示館、民芸品館などには卓越された技術が結集した力作が揃い、来場者の目を引いていました。

センター前広場で同時開催された、JAまつりでは特設ステージで紅白もちまきやジャンケンゲーム、ビンゴ、もちつき大会などが行われたほか、青空市場や物産販売コーナーも設置され、どのイベントにも大勢の来場者が詰め掛け、楽しい一日を過ごしていました。

また、青少年旅行村・いこいの森では、協賛イベントの炭焼き体験などが行われました。

この産業文化祭を通し、農業の新たな経営方策の推進、支援、構築がバランスよく進展し、只見町の農業振興が将来に向け、さらに躍進することを願いたいと思います。

祝町制施行50周年記念

第39回只見町産業文化祭 第14回只見地区JAまつり



2



3



1

産業文化祭

- 1 農機具の歴史館
- 2 ただみ民話茶屋
- 3 米粉コーナーでの試食



1

JAまつり

- 1 とれたて只見の野菜を販売「青空市場」
- 2 農林産物品評会
- 3 もちつき大会での無料サービス



2



3

七十苧遺跡で新たな発見

町教委・埋蔵文化財調査

小林地区河川改修工事及び介護施設新築と車庫新設工事がある小林地区の七十苧遺跡の範囲で埋蔵文化財調査が平成21年8月から10月まで行われ、新たな遺構や遺物が発見されました。調査に携わった町教育委員会の渡部賢史学芸員に調査の概要について報告してもらいました。この調査は、昨年11月の調査に続き行われたものです。

調査の概要

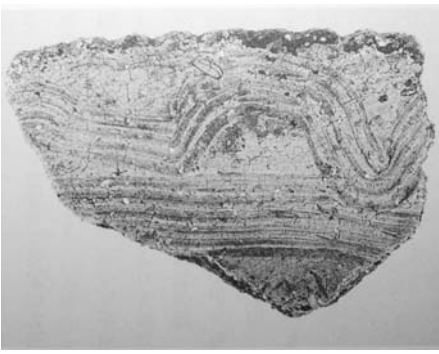
昨年11月、小林区の河川改修工事の照会が県からあり、七十苧遺跡の範囲の近くを通ることから、照会があった翌週より試掘調査を実施。3Tから竪穴住居跡と弥生土器を確認しましたが、降雪のため約1週間の調査となりました。

平成21年5月に、福島県教育委員会、南会津建設事務所と町教育委員会で協議を行い今年度も引き続き調査を実施することが決まりました。

また、介護施設の新設も重なり、8月24日から調査を開始しました。

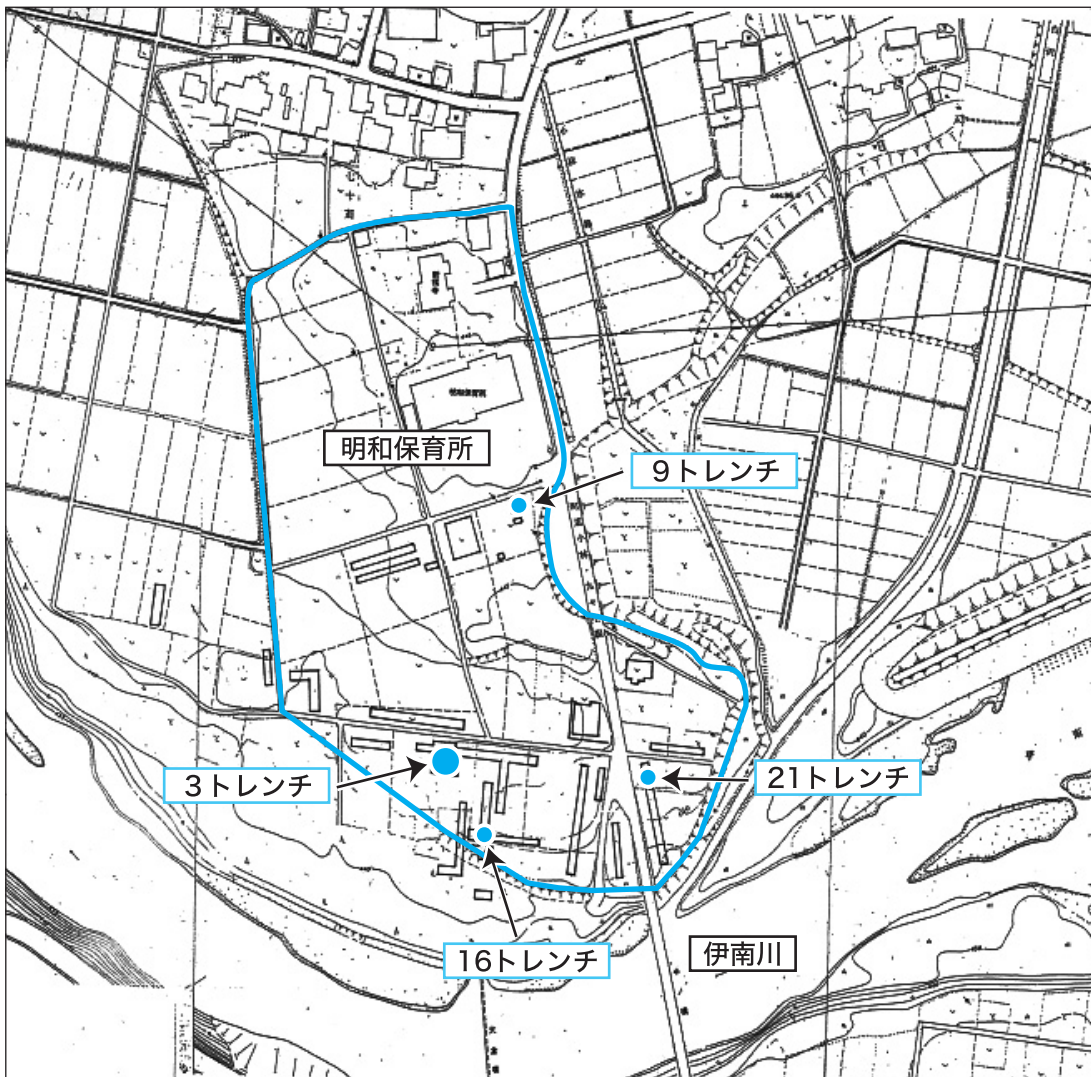
七十苧遺跡とは？

小林字七十苧に所在します。現在の明和保育所及び新福寺を中心として遺跡範囲が広がっていると考えられていましたが、今回の試掘調査で、もつと南側まで遺跡範囲が広がっていることが分かりました。数十年前に木本氏によって刃痕が付着した土器を発見され、只見地方にも弥生時代に稲作が伝わっていたことを証明する土器が発見されている遺跡です。この土器は、現在県立博物館に展示されています。また、只見町史第1巻及び第4巻にも紹介されています。



▲七十苧遺跡出土土器

<七十苧遺跡の範囲>



渡部賢史学芸員

河川改修工事の

試掘調査

(T1トレンチ
・・・試掘坑の略)

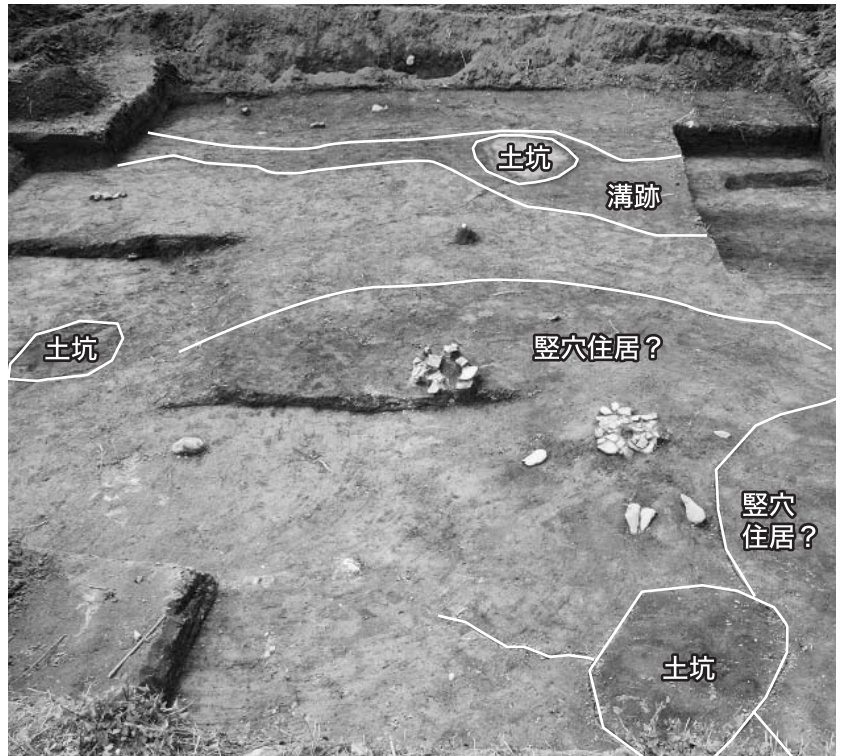
昨年度、降雪のため調査を実施できなかった部分の試掘調査と竪穴住居が確認された部分の記録のため、調査を実施。確認した遺構総数は、竪穴住居跡2棟、土坑3基、溝跡1基、柱跡12基確認しています。取り上げた土器の総数は縄文土器2点、弥生土器79点、石器等の石製品が16点発見されています。

3Tは特に集中して遺構・遺物が確認されています。竪穴住居跡2棟、土坑2基、溝跡1基とカマド跡と考えられるところに土器が集中して発見されています。取り上げた遺物は合計で11点ですが、土器が集中している場所については、取り上げずに再度埋め戻しを行っています。

16Tからは土坑1基と柱跡が12基確認しています。21Tからは遺構は確認できませんでしたが、弥生土器1個体分が潰れた状態で出土しています。弥生土器は、時代を調査していますが、「南会津での発掘の事例が少ないためはつきりと言えないが、弥生時代の終末期の土器だろう」との県立博物館からのコメントをいただいています。



▲第16トレンチ土坑検出状況



▲第3トレンチ遺構検出状況



▲第21トレンチから出土した弥生終末期の土器

介護施設新築及び 車庫新設工事の 試掘調査

6本の試掘坑を設定し、2週間の調査を実施しました。確認した遺構の総数は土坑2基、出土した遺物の総数は、縄文土器42点、弥生土器1点、石器3点確認しています。

新設車庫の地点(9T)から土坑2基を確認しました。また、出土した土器もつとも多く縄文土器が39点出土しています。土坑とは、人間が掘りくぼめた穴で、柱跡より大きく、性格が極めて分かりにくい穴のことを指します。また、水道管が通る予定の11Tから縄文土器3点、12Tから弥生土器1点、石器1点、剥片1点を確認しています。



▲第9トレンチから出土した縄文中期の土器

このように遺構及び遺物が確認されましたが、県教育委員会と協議を行った結果、図面や記録保存し、町教育委員会が工事立会を行いながら工事着工しています。



▲第9トレンチの土坑2基と土器出土状況

来年度以降の 調査について

昨年度と今年度の試掘調査のデータから県教育委員会と町教育委員会と協議を行った結果、調査し記録を残す必要があると指導を受けました。調査の対象面積4,151m²の本発掘調査を実施し、図面と土器等の記録保存を行うことが決まりました。平成22年度から本発掘調査を実施する予定になっています。来年度も関係者各位のご協力をお願いします。



新米の食べ比べの様子



フォトコンテスト受賞者



おいしい?・うん!



まんまだよ
全員集合!!

只見ごはんまつり

町制施行50周年記念事業の一環で「只見ごはんまつり」が、11月8日に明和地区センターで開かれ約70名が参加しました。開会にあたり舟木和一実行委員長は「只見の米は本場において、香りが良い。関西方面からもメールが届くので、全国的にも評判が良いと思います。本日は講演会も行われますので、ぜひお聞きください」とあいさつを述べました。

続いて、目黒町長が「農業は農地を維持保全し景観を守ります。その役割は重要で、次世代に伝え引き継いでいかなければなりません。本日は只見の米のおいしさを皆さんで味わいましょう」と祝辞を述べました。

開会式では「水田のある風景」フォトコンテストの表彰も行われ、最優秀賞の大東由佳さん(梁取)はじめ、優秀賞1名、特別賞3名の方々に、賞状や記念品が贈られました。その後、「ストーリー性のあるお米×魚沼神話が崩れる日」と題し、五つ星お米マイスターの澁谷梨絵さんが講演を行いました。澁谷さんは、カラダに優しい!安心安全!顔が見える!をモットーに生産者と消費者をつなぐ信頼度の高い米屋・雑穀屋を目指し株式会社シブヤを経営されています。講演では、会津産コシヒカリが

魚沼産コシヒカリに劣らずおいしく評価が高いことや、産地に出向き農家の情報を把握し消費者に伝え、信頼を得ながら販売しているといった経営方針などを話されました。

お昼には、只見町内各地区で収穫された新米の参加者による食べ比べや、ごはんを引き立てる味噌漬、なめこ汁などと新米を味わう「オンザまんま」が行われ、参加者は只見産米のおいしさを実感しながら、楽しく過ごしました。

閉会式では食べ比べの投票結果が発表され、人気投票1位に輝いたお米は「梁取産コシヒカリ」となりました。また、参加者にはオリジナル手ぬぐいがプレゼントされました。



最優秀賞「これがごはん??」

「水田のある風景」

フォトコンテスト受賞者

【最優秀賞】

大東由佳さん(梁取)

「これがごはん??」

【優秀賞】

角田行雄さん(小林)

【特別賞】

目黒俊行さん(小川)

三瓶キエさん(深沢)

刈屋晃吉さん(布沢)

講師 Profile



澁谷 梨絵 (しぶや りえ)

- ◆(株)シブヤ代表取締役
- ◆雑穀エキスパート
- ◆五つ星お米マイスター
- ◆1977年生まれ。家業を継いで現職に。米屋、雑穀屋、弁当惣菜店を中心に経営。

上半期財政状況 お知らせ します

◆一般会計(歳入)

(単位:円、%)

款	款名称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	982,772,000	529,622,140	53.89
2	地方譲与税	71,200,000	23,277,331	32.69
3	利子割交付金	1,029,000	611,000	59.38
4	配当割交付金	200,000	141,000	70.50
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	28,913,000	72.28
7	自動車取得税交付金	15,601,000	4,109,000	26.34
8	地方特例交付金	7,577,000	7,608,000	100.41
9	地方交付税	2,127,891,000	1,562,714,000	73.44
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	626,000	62.60
11	分担金及び負担金	24,523,000	9,220,436	37.60
12	使用料及び手数料	29,991,000	14,401,865	48.02
13	国庫支出金	140,845,000	9,748,000	6.92
14	県 支 出 金	294,196,000	22,128,192	7.52
15	財 産 収 入	22,338,000	9,573,610	42.86
16	寄 附 金	4,001,000	1,160,000	28.99
17	繰 入 金	28,741,000	13,000,000	45.23
18	繰 越 金	88,449,000	88,449,965	100.00
19	諸 収 入	30,132,000	16,890,364	56.05
20	町 債	312,400,000	0	0.00
合 計		4,222,887,000	2,342,193,903	55.46

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成21年度上半期(4月1日～9月30日)の予算の執行状況をお知らせします。

平成21年度一般会計当初予算は、現年度予算38億3,000万円です。スタートしましたが、3回の補正で42億2,288万7千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が2億5,971万3千円ありますので、総額44億8,260万円となっております。

歳入のうち地方交付税を平成20年度と比較してみますと、

◆一般会計(歳出)

(単位:円、%)

款	款名称	予算額	支出済額	執行率
1	議 会 費	61,814,000	29,575,322	47.85
2	総 務 費	870,576,000	328,421,914	37.72
3	民 生 費	550,256,000	152,870,238	27.78
4	衛 生 費	381,654,000	140,676,617	36.86
5	労 働 費	26,936,000	12,943,272	48.05
6	農 林 水 産 業 費	482,085,000	53,689,741	11.14
7	商 工 費	176,176,000	56,715,080	32.19
8	土 木 費	255,182,000	51,464,703	20.17
9	消 防 費	171,210,000	113,989,512	66.58
10	教 育 費	306,306,000	139,402,679	45.51
11	災 害 復 旧 費	9,880,000	19,080	0.19
12	公 債 費	799,155,000	321,581,422	40.24
13	予 備 費	131,657,000	0	0.00
合 計		4,222,887,000	1,401,349,580	33.18

普通交付税(7月に交付額算定)が20億7,789万1千円となり、前年度対比3,766万7千円の増となったものの、特別交付税(平成22年3月に交付額決定)は、前年対比での減額が見込まれています。(※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」の2種類に分かれています。)

主な事業内容は、新総合行政システム再構築事業 7,975万円、新多目的交通システム運営補助金(雪んこタクシー) 1,893万円、合併処理浄化槽設置補助金 2,272万円、

◆特別会計

(単位:円、%)

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	執行率	
1	国民健康保険事業	584,944,000	248,287,014	42.45	312,817,240	53.48
2	国民健康保険施設	380,918,000	81,695,485	21.45	169,424,300	44.48
3	老人保健	5,558,000	3,849,781	69.27	2,378,305	42.79
4	後期高齢者医療	115,177,000	12,047,500	10.46	43,939,536	38.15
5	介護保険事業	560,413,000	252,194,670	45.00	207,468,590	37.02
6	介護老人保健施設	235,465,000	64,735,020	27.49	114,817,491	48.76
7	訪問看護ステーション	22,253,000	0	0.00	9,836,912	44.20
8	地域包括支援センター	10,130,000	970,880	9.58	4,500,469	44.43
9	簡易水道	103,384,000	32,227,538	31.17	47,336,479	45.79
10	観光施設事業	33,000,000	0	0.00	7,333,748	22.22
11	交流施設	112,181,000	0	0.00	56,760,659	50.60
12	集落排水事業	228,374,000	33,416,050	14.63	93,879,714	41.11
13	朝日財産区	8,800,000	8,954,741	101.76	122,500	1.39
合 計		2,400,597,000	738,378,679	30.76	1,070,615,943	44.60

町単独緊急雇用創出事業 2,692万円、農業用水路・排水路改修事業 1,157万円、中山間地域等直接支払事業補助金 2,053万円、県営たのみ西中山間地域総合整備事業負担金 1,950万円、里山エリア再生交付金事業(林道・耐震性貯水槽整備) 7,382万円、公営住宅改修事業(大倉) 1,840万円、明和小学校プール改築事業(設計調査) 1,196万円、季の郷湯ら里空調シス

テム改修事業 6,876万円、西部環境衛生組合負担金 1億2,794万円、広域圏消防費負担金 1億3,016万円、などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

ふくしまの森に学び森に生きる ふくしま森林文化フォーラム

あいさつをする目黒町長



パネル討論

福島県主催による森林環境基金事業「ふくしま森林文化フォーラム」が10月31日、季の郷・湯ら里で行われ、約100名が参加されました。目黒町長はあいさつで「自然や地域資源を活用した町づくりを推進し、ただみ・ブナと川のミュージアムも情報発信の拠点施設として有効に活用していきます」と述べられ、続いてブナ林の恵みについて講師の赤羽正春氏による基調講演や、ふくしまの森に学び森に生きるをテーマにパネルディスカッションが行われました。ディスカッションでは、ここ7、8年の間にブナに対する意識や価値観が大きく変わってきていることや、多雪と只見の地形が貴重で豊かなブナ林を残したことから、この地域の財産となっているブナ林との新たな関係構築が重要であることが町の発展に今後大きく影響してくることなど、ブナ林を取り巻く環境を、どう町づくりに反映させていくべきか活発な討論が行われ、参加者も真剣なまなざしで視聴していました。

元気な歌声に、迫力の演奏 只見町 小中学校音楽祭

11月11日に只見中学校体育館で行われた「只見町小中学校音楽祭」には、只見小3・4年生、明和小3・4年生、朝日小4・5・6年生と只見中全校生徒が参加、小学校は合唱と合奏を披露し、中学校は全校生徒と特設合唱部の合唱を披露しました。元気に楽しく歌う小学生、迫力ある演奏で楽器を奏でる合奏、そして爽やかで清らかな歌声が響き渡った中学生の合唱、いずれも完成度の高い合唱と合奏の連続に、来場された保護者からは感動と同時に大きな拍手が送られていました。練習の成果がすべて発揮されたすばらしい音楽祭でした。



▲只見小学生の元気な合唱

華やかに、美しく 只見町文化協会芸能発表会

11月15日、只見町文化祭事業の一環として、只見町文化協会芸能発表会が、季の郷・湯ら里で開かれました。開会にあたり文化協会の飯塚岩夫会長が「大勢の皆さんに会場いただき出演者も喜んでいきます。一生懸命練習した成果を充分発揮してください。応援お願いします」とあいさつを述べました。この日は、文化協会に加盟する10団体の発表があり、会場を訪れた100名を超える皆さんは、美しい歌声や華やかな舞踊などの発表に大きな拍手を送っていました。



▲来場者を魅了した舞踊

東京・西浅草の サテライト店で移動販売車を導入

只見、柳津、三島、金山、昭和の五町村の特産物販売店「ふるさと応援隊・合羽橋店」が移動販売車「奥会津フレッシュ便」を導入しました。出陣式は11月18日に町村長らが出席し同店で行われ、只見町からは渡部勇夫総括参事が出席、フレッシュ便の運行を祝いました。移動販売車はサテライト店を運営するNPO法人「ふるさと往来クラブ」が購入、奥会津の新鮮野菜

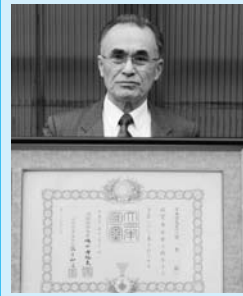
など40品目を乗せ浅草周辺や文京区、新宿区などを巡回し都民に販売されます。



▲奥会津フレッシュ便

秋の叙勲

瑞宝単光章

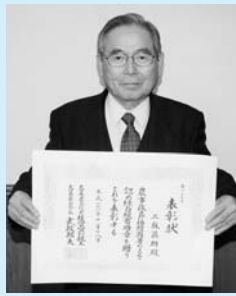


元只見町消防団団長
目黒紘さん(塩ノ岐・65)

瑞宝単光章を受章された目黒さんは、昭和43年6月1日消防団員を拝命以来、37年間の長きにわたり消防団活動に尽力され、地域住民の生命財産の安寧保全に努力されました。また、平成10年4月1日以降は消防団長として当町の振興発展に多大な貢献をされました。

(社)大日本農会・農事功績表彰

緑白綬有功章



トマト・稲作複合経営(法人)
三瓶藤助さん(大倉・72)

緑白綬有功章を受章された前JA会津みなみ代表理事組合長の三瓶さんは、中山間地域において農業の経営発展を追求され、トマトと稲作の複合経営を確立。新技術の導入と協業化により農業改革に挑戦され園芸産地の振興に多大な貢献をされました。

奉仕団功労「金色有功章」
只見町赤十字奉仕団



10月28日に郡山市のビッグパレットふくしまで行われた「福島県赤十字大会」で只見町赤十字奉仕団(五十嵐聰江委員長)が奉仕団功労「金色有功章」を受章されました。只見町赤十字奉仕団は昭和63年12月に設立、以来20年以上の地域に貢献された奉仕団活動が認められました。

福島県統計功労者表彰

福島県知事表彰



目黒宇一さん(黒谷)

昭和46年より統計調査員として貢献され、永年にわたり統計調査の重要性を理解され、積極的に正確な調査活動を行われたことが認められました。

福島県統計協会
名誉会長表彰



酒井健三さん(只見)



酒井孝一さん(坂田)

統計調査員を通算7年以上務められ、統計の普及発展に貢献、その活動が統計調査員の模範として認められました。

教育委員に
辞令交付

9月定例議会11月会議において教育委員2名の選任について同意がなされました。新教育委員には、12月1日に辞令が交付され、同日の教育委員会臨時会において、新教育長が決定しました。

任期 平成21年12月1日
〜平成25年11月30日

教育長

齋藤修一氏(亀岡・60)



教育委員

渡部仁一氏(塩沢・51)



【平成21年12月1日付】

只見の秋の味覚に舌鼓
第18回只見
新そばまつり

11月14日、只見地区センターで、今年の採れたて新そばを味わう第18回只見新そばまつりが開かれ、町内外から100名以上の参加者があり賑わいを見せました。採れたて、打ちたて、ゆでたての新そば食べ放題に加え、団子汁や山菜盛り合わせ、地酒なども振る舞われ参加者は心ゆくまで秋の味覚を堪能していました。特産品が当たる抽選会では地酒や採れたて地元野菜、地元の新米、年越しそばなどがプレゼントされ、祭りを盛り上げました。

また、お土産にそば焼きもちとふきのとうの田舎煮も準備され、参加者は最後まで只見の秋の味覚を楽しむことができ満足な様子でした。



▲ そば打ちを体験する参加者



明和保育所 (11月18日)

「かわいらしい演技に大歓声」 保育所おゆうぎかい



只見保育所 (11月19日)



朝日保育所 (11月20日)

先 町制施行50周年記念植樹 人の努力たたえ、輝かしい未来を目指して…



▲ 植樹された「百日花 (さるすべり)」

11月4日、只見地区センターでは、電源開発の源である只見川の岸辺に、地域の方々の協力を得て町制施行50周年記念地域再発見事業の植樹を行いました。植樹された夏の花「百日花 (さるすべり)」は、合併により只見町がスタートした日が8月1日の真夏だったことから選ばれました。本数は6本で、うち5本は50周年を記念し、残りの1本はこれからの新たな町の飛躍を祈念し植えられました。来年は桃色の可憐な花を咲かせてくれるでしょう。

住 福島県集落支援員研修ケーススタディ 民とともに地域づくりを模索

福島県主催の集落支援員等育成支援事業ケーススタディが、11月21～22日に蒲生地区で開かれました。集落支援員の実技研修として、直接集落に出向き、住民と一緒に地域づくりを考えることを目的に行われた研修には、県内各地区から24名が参加、蒲生地区からも14名の住民が参加され、二日間で「蒲生お宝マップ」の作成に取り組み、完成した3枚のお宝マップは蒲生集会所に寄贈されました。

集落支援員の方々は、今後も各地で研修され、地域の活性化に協力されるとのことです。



▲ 「蒲生お宝マップ」の作成に熱が入る参加者

山 要害山の歴史を学ぶ現地学習会 頂で水久保城の歴史にふれる

要害山の歴史を学ぶ現地学習会は11月15日に只見地区センター運営委員会主催で行われ、13名の参加者が、大槌山登山道から要害山山頂を目指し歩きました。山頂では「要害山・水久保城の歴史」について、福島県文化財保護指導委員の新国勇さんを講師に学習会が行われ、要害山には、戦国時代から歴史上重要な役割を担った「水久保城」があり、周辺にある石垣の曲輪（くるわ）などを確認しながら説明を受けました。参加者からは、「町内にこのような史跡があることに驚いた。今後、地域資源として有効に活用すべき」などと意見も出されました。



▲ 水久保城本丸跡で説明を受ける参加者

ホ 第1回只見町文化協会長杯グラウンドゴルフ大会 ホールインワンに歓喜の声



▲ 4回のホールインワンを決めた目黒ツネ子さん（中央）

記念の第1回只見町文化協会長杯グラウンドゴルフ大会が11月6日、町下運動広場で開かれ60名が参加、熱戦に継ぐ熱戦が繰り広げられ、第1回の大会で目黒ツネ子さん（只見）がなんと4回のホールインワンを打ち出しました。この記録は今後も簡単には破られないすばらしい記録です。目黒ツネさんは個人の部女子第3位となりました。団体の部の成績は、優勝が只見チーム、第2位が明和チーム、第3位が朝日チームでした。



▲ 只見の思い出に意気投合の出席者

只 2009年「ふるさと只見の集い」 見を懐かしみ思い出話し和やかに

東京都とその近郊に在住の只見町出身者約70名が出席され、11月22日に東京都千代田区のスクワール麹町で「ふるさと只見の集い」が開かれました。毎年、交流と親睦を目的に開かれる集いには、只見から目黒町長、鈴木征町議会副議長らが出席しました。目黒町長は、あいさつで「町づくりには皆さんの提案や提言も反映させたい。只見の自然のすばらしさをPRしてください」などと述べました。アトラクションやビンゴゲームも行われ、最後に「ふるさと」を合唱、またの再会を誓い合いました。

只 南会津郡青少年健全育成柔剣道大会 見剣道スポーツ少年団が低・高学年の部とも優勝

11月8日に田島中学校体育館などで開かれた、郡青少年健全育成柔剣道大会の剣道で小学3～4年生までの低学年の部と5～6年生までの高学年の部ともに只見小学校Aチームが見事優勝しました。学年別の同時優勝は初めての快挙、選手をはじめ監督、保護者、指導者は歓喜の笑顔であふれていました。低、高学年の部ともに8チームが参加、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の5人で戦いました。すばらしい成績おめでとうございます。



▲ 優勝カップなどを手に喜ぶ選手ら関係者



ヴィッキーの
にっぽん紀行
 Vol.12

Victoria・Potter
ウィクトリア・ポッター
 ・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
 ・2008年8月から町英語指導助手。

最近私は只見から仙台の北の松島まで旅行にいきました。今まで県内のALTの友達が仙台を訪れ私にも薦めてくれました。そこは大変美しく、天気の良い日に友人と訪れることができたことはとても幸運でした。私たちはボートで海岸から離れた小さな島々を巡る体験をしました。その中には小学校も中学校もある人口300人ほどの島もありました。そこにも私のようなALTがいるのかな、などと思っていました。松島では名物の「牛タン」を食べてみました。それは大変おいしいものでした。また、名所のお寺の前に杉の木が生い茂る公園（瑞巖寺）の中を歩

去年に引き続き、11月に須賀川の火祭り、松明あかしに行ってみました。去年も含め2回目になりましたが、今回は松明を持つ役目にはなれませんでした。前は、カメラの電池がなくなり唯一松明の写真を1枚しか撮ることができなかったのですが、今回は切望していました。今回は壮大な写真をたくさん撮ることができました。私は日本でたくさん写真を撮ることが好きです。自分自身のためだけではなく、帰国したときに家族や友達にみてもらうためです。イギリスにも11月5日に火の祭りがあ

きました。お寺は改修工事中で見ることができませんでした。しかしその公園はとても興味深く、公園の一端の岩壁は大きく切り出され、洞窟のようになっていました。これはただの飾りなのか、それともほかの目的があるのか不思議に思いました。（補足：僧侶が修行、生活するためのスペース）私は今回の松島旅行を満喫し、もう一度訪れたいと思いました。そしてさらにもっと東北地方を巡り歩きたいと思っています。

もうすぐ私はクリスマスに向けて帰省をします。家族と友人に会えることにとっても興奮しています。なぜなら、昨年7月に帰省して以来、初めてになるからです。クリスマスには家で家族とゆっくり過ごしたいと思っています。昨年度は逃してしまいましたが、イギリスでは一年の中でクリスマスは家族と共に過ごす時間なのです。今は家に着いてからのことが心配です。街を歩いているときや、喫茶店の中、テレビをつけたときに回りの人たちが言っていることが理解できるのかと思ってしまう。しかし、私がイギリスに住んでいるのはそんなに昔のことではありません。実際はそんな不安はすぐに吹き飛び、以前のような日常に戻ることでしょう。

「家庭医とは」
 朝日診療所 医師 高柳宏史

「家庭医とは」
 こんにちは、朝日診療所の高柳です。こちら只見に住むようになって早9ヶ月が過ぎました。外來でも声をかけていただきましたが、今年の9月に第一子（長男）が無事に誕生し公私ともに忙しい日々を送っております。

ところで、私は福島県立医科大学の地域・家庭医療部に属しているのですがみなさんは家庭医療という言葉は聞かれた事はありませんか？おそらく聞きなれない言葉だと思います。せつかくの機会ですから今回は「家庭医」について話をしたいと思っています。

病気をその頻度から分けると「まれな病気」と「よくある病気」とに分ける事が出来ます。今の日本では高血圧、糖尿病、腰痛症、認知症などが「よくあるもの」に入ります。これらの「よくある病気」について学び、治療することができるのが「家庭医」になります。

先進諸国ではこういった家庭医の存在が一般的でかつ制度化されています。まず一度自分の「家庭医」に診てもらい、もし「専門医」の治療が必要な場合は紹介してもらおう。そういった仕組みが制度化されている国々では「専門医」の負担を減らし、医療費の削減効果があることが示されています。現在、先進諸国の中でこういった家庭医の制度がないのは日本だけであり、アジア諸国の中でも日本が「家庭医療後進国」であるという現状です。

また「家庭医」にはさまざまな科の知識・技能を持つ以外にも一つ重要な能力があります。それは「患者中心の医療」の方法です。アメリカで社会的な人間関係と健康に関する研究が行われ、喫煙よりも社会的な人間関係のほうが人の健康に大きく影響を与えるという事が示されました。具体的な例としては両親の関係が子供の入院の割合や気管支喘息の病状に影響を与えたといったものです。その他にも社会の中の人の営みが健康に大きく影響する事が多くの研究で示されています。そのため、その人の家族や地域社会、文化などその人の「背景」について深く理解する事と、その「背景」を理解した上で医師と患者さんが一緒に目標をたてた上で医療を提供していく事がその人の健康に非常に重要な事です。そのやり方を「患者中心の医療」という方法で私たち「家庭医」は学んでいます。

「家庭医の先生の専門って何ですか？」と聞かれることがあります。一言で答えるのが難しく困ります。が、アメリカの家庭医の先生に「あなた達の専門は？」と聞いたアンケートが一番多かったのは「私の専門はあなた（患者さん）です」という答えだったそうです。その患者さんの背景を知り、適切な医療を患者さんに提供する。そんな医師に僕もなりたいと思いますし、そんな家庭医と専門医がうまく協働すれば今の医療崩壊もきっと良い方向へ行くと思っています。

（訳・只見中・平野）

町史

とっておきの話

185

東洋大学講師

久野俊彦

猶戸龍藏院の 修法書と 切紙・巻物

修法書の伝授

真言・天台宗の密教寺院の僧侶や修験道の法印は、人々の願いに応じてさまざまな祈禱を行います。それを修法といひ、そのやり方を記した書物が修法書です。猶戸の修験龍藏院には、42点の修法書類が残されていました。師僧から弟子僧へと直接伝授された次第(祈禱順序)



『諸尊三秘密』
(享保5年写)

と口伝(内容)を忠実に守りながら行う祈禱が修法です。修法書は、師僧から弟子僧に書写を許された秘伝の書物でした。その奥書には、師匠から弟子への伝授のありさまが記されています。

その例をあげると、龍藏院本の『十八道糸玉抄』は、宝暦7年(1775)に伊南古町(南会津町)の円成院(田中坊)泰阿が書写したものです。泰阿が書写したもとは本は、慶安3年(1650)に会津(若松か)の甚性房慶弁が書写した本でした。さらに慶弁が書写したもとは本は、元龜2年(1571)に薬王寺(いわき市四倉町薬王寺)の純瑜が著したものでした。純瑜は馬目(いわき市)の出身で、紀伊根来寺・高野山・京都醍醐寺で学んだ学僧です。奥州で著された密教の書物が、この地で伝授と書写が繰り返されて現在に残っているのです。

また、『水天供之次第』は、もととは応永5年(1396)に高野山宝性院の宥快が書写したものです。これも書写が繰り返され、龍藏院本は、延享2年(1745)に、円成院の貞珉の子、多門が17歳の時に書写したものです。多門は、同じ年に諸国の神社仏閣を記した『諸国藻塩草』という大部な書物を書写しています。とても学問好きの青年ですが、若くして亡くなったらしく、父が追悼の歌を『水天供之次第』に記しています。

『諸尊三秘密』は曼陀羅に画く仏像の図像集ですが、龍藏院本は、享保5年(1720)に堯弁が書写して覚範が保持し、遺弟長願が護持したものです。堯弁が書写したもとは本は、靈雲寺(江戸湯島)の学僧浄蔵が所持していた本を宥受が貞享4年(1687)に写したものでした。ところが、龍藏院本の「長願」の名は墨で塗られて消されているのです。龍藏院の法印が、この本を所持するにあたって、もとの所有者の名を消したものです。これは、正式な伝授でなく書物を手に入れたことを示しています。

切紙の伝授

密教や修験道では、師から弟子への伝授の際には、半紙大以下の小さな紙に、伝授の内容を要約して記して弟子に授けました。これを切紙といひます。龍藏院には47通の切紙が残されています。切紙の冒頭は、「稲荷社大事」「仁王経大事」などと、「○の大事」と書かれています。切紙の奥書には、「寛政6年(1794)寅十月吉日 法印祐誉示

之 法印行鶴」などと記されています。行鶴は龍藏院の法印です。切紙を伝授するときは、年号と師僧、弟子僧の名が記されました。切紙は半紙を横半分に分けて横長にして書いたものです。切紙の内容は、祈禱・呪術などの技術的な方面の作法や知識でした。その作法や知識の伝授の修了証が切紙でした。

修験の切紙から 職人巻物へ



町民文芸

只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

娘の許でお袋の味作らむとりハビリ兼ねて調理場に立つ

吉津 政枝

体調のややに戻れば幾日も裏口に置きし豆穀片す

皆川 恒子

稲の初噛みて実入りを確むる夫は表情を変へずうなづく

目黒 富子

独り居の媪寄り来て孫の赤き自転車庭にあるを羨しむ

古川 英子

今日もまた日の暮れ早きを言ひながら孫と二人の夕餉をすます

馬場 八智

藍深き秋茄子嫁にくれるなど言ひし昔を思ひもぎたり

齊藤ちひろ

大型と恐れし台風被害なく川の向うに大き虹立つ

渡部ゆき子

見間違ひ礼する程に良く出来し案山子立ちをり熟れ初めし田に

五十嵐夏美

つかの間の紅葉なれど峡深き町に車の寄りて賑はふ

渡部ヨリ子

来春に備へて枯葉除きつつ店員たちは鉢植囲ふ

新国 洋子

只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

赤とんぼ数少なくて日本晴

都

尼寺の風吹き変わる葛の花

隆介

駆けつけて切れし電話や秋の雨

娘来て窓開け放つ冬日向

郁子

邦夫

コンバイン汚れ落して豊の秋

ケールカー終点に着くナナカマド
裏庭に陽射したっぷり小豆干す

洋子

笑羊

風来たり又銀色のさんま焼く

プロペラに刃物の光り冬立てり

軽トラの後先で舞う落葉かな

解体の戦車平らに冬紅葉

修一

リウコ

秋雨や茶道具揃え友を待つ

豆落とす音あちこちに日の高し

紅葉狩の身に一息の露天風呂

六十里越えの車や初紅葉

一灯

康女

秋高し単車一群音立てて

山よりの風のもたらす菊日和

流星や亀岡山を狙うかに

犬連れし少女駆け出す草紅葉

邦男

一穂

ひと匙の塩振り掛くる衣被

子の温み背ナやはらかに鳥渡る

童心に帰るひと時紅葉狩り

秋冷や空に流星飛び交いつ

又壺歩

恒夫

駆伝に声援送る秋日和

草紅葉「四十八川」ちふを越え

秋声や犬抱く少女頬ずりす

朝寒や鎌に砥石のあたる音

吉児

礼

栗鼠渡る枝のたわみや秋の声

晩秋や寝ねつつ肩の力抜く

二の腕に秋の気配や秣刈る

雨音のこさざみとなり雪予報

今月のお知らせ

RECRUITMENT

募集

平成22年度 保育所入所児童 申込み受付開始

次により、平成22年度の保育所入所児童の申し込みを受け付けます。入所を希望される場合は期間内にお申し込みください。

●入所基準

平成22年4月1日現在で満1歳以上の児童で、保護者が仕事などをしていないため保育ができない児童

●募集定員

- ▽只見保育所 60名
- ▽朝日保育所 60名
- ▽明和保育所 60名

●受付期間

平成21年12月1日(火)～

12月28日(月)まで

※時間は、午前8時30分から午後5時までで、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。保育所では土曜日の午前中も受け付けます。

●受付場所

- ▽保健福祉センター
- ▽只見町役場窓口
- ▽只見・朝日・明和保育所
- ▽朝日・明和地区センター

●申込書類

- ※受付場所に用意してあります。
- ▽保育所入所申込書
- ▽保育申告書

●その他

以前、提出された入所申込書の「保育の実施を希望する期間」が平成22年度も申し込まれている場合、今回は保育申告書のみ提出ください。また、平成21年12月現在退所されている児童は申込書が必要となります。

▼問い合わせ

保健福祉課福祉班
0241-8417010

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
町民生活課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
訪問看護ステーション	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2130
保健福祉センター	☎84-2101
只見地区センター	☎84-7005
朝日地区センター	☎82-2141
明和地区センター	☎84-2111
	☎86-2111

50周年記念事業 梅の苗木配布事業について

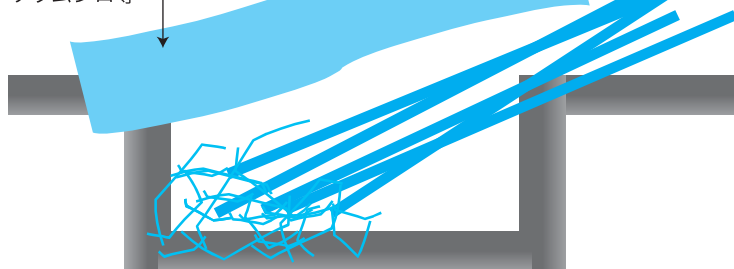
この度は、町制施行50周年を記念した「梅の苗木」配布事業に御協力いただき誠にありがとうございました。

すでに、仮植えをされている方もいらっしゃると思いますが、冬が近づいてきましたので、凍害を防ぎ越冬するための方法をお知らせします。

苗木の越冬方法

下図のように溝を掘り、水に浸して充分吸水させた苗木を1本ずつ斜めに並べてください。この際は、根部が凍結する土壌よりも深くなるように植えてください。苗木は、50cm～70cmは土中に入れ、細根部分には、丁寧に土を入れてください。最後に、地上部をワラムシロ等で防寒して完了です。

ワラムシロ等



50cm
以上

春になったら...

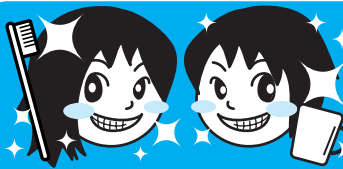
日当たりが良く、水はけの良い土地に植えなおしてください。1年生枝葉の先端部分や新梢を切り詰めると、充実した新芽が出るようになります。3年ほど育てると花が咲くようになり、結実します。綺麗な花を咲かせ、たわわに実が成るように、愛情を込めて育ててください。

問い合わせ

産業振興課農林班 ☎82-5230

税 今月の納期

- 12月25日までに納めましょう
- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 長寿医療保険料(5期)



虫歯のない子

11月4日
3歳児健診



さんべ なつめ
三瓶なつめさん
(大倉)



さとう みく
佐藤 未徠さん
(只見)



おぬま かずは
小沼 和葉さん
(福井)



まつなが かの
松永 佳音さん
(只見)



やなとり もも
梁取 ももさん
(坂田)



はしかわさいき
橋川 彩希さん
(小林)



わたなべ みく
渡部 美空さん
(小川)



かんげ かな
管家 奏さん
(大倉)



さかい しゅん
酒井 駿くん
(小林)



すずき ねお
鈴木 音緒くん
(只見)



はせべ ちなつ
長谷部千夏さん
(長浜)



かんの はると
菅野 陽翔くん
(梁取)



ほりかねこうた
堀金 康太くん
(福井)



いわさ のあ
岩佐 乃杏さん
(黒谷)

第21回ふくしま駅伝 只見町チーム力走!



11月15日に開かれた、第21回ふくしま駅伝で、只見町チームは6時間7分9秒で総合50位、町の部28位の成績でした。競技は白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間、96・2キロメートルのコースで健脚が競われました。只見ランナーズが駅伝事務局となり参加している只見町チームは中高生

が中心のフレッシュなメンバーで大会に臨み、16人全選手が全力を振り絞り走りきりました。来年も只見町チームに熱い声援をお願いいたします。

コミュニティー助成事業

明和地区センターでは、平成21年度宝くじコミュニティー助成事業で、屋外音響設備やテントなどのイベント用具を新調しました。明和地区に限らず、町内の様々なイベントでご活用いただきたいと思います。お申し込みは明和地区センターまで。



町長室日誌

〈 11月分 〉

- 2日 三重県大台町より行政視察団来庁
- 3日 第39回只見町産業文化祭
- 4日 福島県議会「県民連合」移動政調会
- 5日 南会津地区健康集会
- 6日 職員採用候補者試験第2次試験、南会津広域市町村圏組合来庁、ふくしま駅伝壮行会
- 8日 町制施行50周年記念事業「ごほん祭り」
- 9日 朝礼、庁議
- 10日 嘱託員辞令交付、社会福祉法人南会津会評議員会・理事会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会
- 11日 森林総合研究所来庁、福島県保健福祉部次長外来庁、明和地区町政懇談会
- 12日 会津地方振興局来庁
- 13日 朝日地区町政懇談会
- 14日 第18回只見新そばまつり
- 15日 只見町文化協会芸能発表会、ふくしま駅伝選手団町旗返還式及び懇親会
- 16日 季の郷湯ら里役員会、只見地区町政懇談会
- 17日 統計調査員県知事表彰他表彰状伝達式
- 20日 只見町建設業協会会長他来庁(請願書提出)、辞令交付(育児休業)
- 22日 ふるさと只見の集い
- 24日 生物多様性に関する調査研究についてプレリリース、東邦銀行業況説明会
- 25日 南会津地方広域圏組合第6回管理者会
- 26日 9月定例議会11月会議
- 27日 西部環境衛生組合臨時議会、終了後福島出張
- 30日 一般社団法人只見町観光まちづくり協会設立発起人会、南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会及び全員協議会、暴力団等排除措置要綱運用協定式、自由民主党福島県議会議員会地域経済活性化対策本部来庁

町民の消息

(11月1日～11月30日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

矢 沢 悠 樹 (はるき)
 (男/裕 也・郷 美) 二軒在家
 三 瓶 叶 翔 (かなと)
 (男/宏 人・美由紀) 只 見

■おくやみ申し上げます

佐 藤 テツ子 73 只 見
 横 田 耕 87 大 倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年11月1日現在

人 口 5, 0 3 1 (-7)
 男 2, 3 9 9 (-2)
 女 2, 6 3 2 (-5)
 世帯数 1, 9 0 4 (+2)
 高齢化率 41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人人口に占める割合です。

転入 3 転出 6 出生 0 死亡 4

あ と が き

▽50周年記念事業の「ごはんまつり」で食べ比べた新米は、本当においしく、香りも食欲が増すほどいい感じでした。只見産のほかに南魚沼産コシヒカリや酒米も味わいました。魚沼産コシは食べた瞬間に独特の香りが広がり、弾力のある噛みごたえで「やっぱ美味しいな」と思いましたが、並んだ新米はどれも甘みがあり、最高の味でした。
 ▽いよいよ師走。クリスマスに忘年会、大掃除に年越し…体調管理を万全に、皆さん良いお年をお迎えください。来年も、よろしくお願いたします。

町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
 渡部 敦子

明和地区センター
 図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★100かいだてのいえ



いわいとしお/著
 (偕成社)

「ぼくは100かいだてのいえのてっぺんにすんでいます。あそびにきてください。」トチくんのところにこんな手紙がやってきました。手紙には名前がない代わりに地図が描かれています。地図が示す場所に行ってみるとそこには見たこともない高い家が。さてさて、てっぺんに住んでいる手紙の主はいったい誰？100階建ての家には10階ごとに違う生き物が住んでいて、絵をじっくり見るだけでも楽しい。

★鷲と雪



北村 薫/著
 (文芸春秋社)

第141回直木賞受賞作。「街の灯」、「玻璃の天」に続くミステリー3部作の最終巻。戦争に向かう昭和初期を舞台に、実在のエピソードを要所からめながら、魅力的で賢明な主人公たちの推理と心の動きのきめ細かい描写で、ラストまで一気に読ませる。緻密な時代考証により、時代の匂いが漂い立つ文章も魅力的。

その他、映画化も予定されている「のぼうの城」、福島県前知事によるあの事件の手記なども購入しました。ぜひご利用ください。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

一日駅長



10月31日(土)

すずき りょうくん(左)
はそめ しゅうとくん(中)
やなとり ころろさん(右)

11月1日(日)

やなとり かのんさん(左)
につくに たいようくん(中)
さかい かなえさん(右)

11月3日(祝)

はせべ かなさん(左)
さかい まいさん(中)
わたなべ ちはるさん(右)

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

12月

- 18日(金)
「只見スキー場オープン」
- 19日(土)
「キャンドルナイト・只見スキー場」

1月

- 1、2日(祝)
「只見スキー場お正月歓迎イベント」
- 24日(日)
「第37回只見毎日杯
ジャイアントスラム大会」

▼毎週日曜日に開催していましたが、テント市「ひんのめえ市」は終了いたしました。が、駅構内スペースにおいて引き続き販売しています。青豆、黒豆、小豆、打ち豆、もち米などを揃えています。町民の皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

只見町観光まちづくり協会

☎ 0241-8215250

営業時間 午前8時半～午後6時